

お祈りをしませんか？

村井 俊治

私は信心深いです。お寺や神社に行くと必ずお祈りをします。真剣にお祈りします。願い事が沢山あります。100円のお賽銭では効き目が足りないと思い、500円玉のコインがあれば500円にします。先ず自分の健康や体のことから祈り始め、家族のこと、友人のこと、仕事先のことなどが上手く行くようにお祈りします。

一番真剣にお祈りしたのは、20年前です。京都で国際会議を企画しました。第2日目の7月2日に京都国際会議場の庭園で和太鼓演奏を計画しました。雨なら困ります。7月初めはまだ梅雨が明けていません。宝ヶ池のそばにある神社で毎朝お祈りしました。お賽銭は500円コインです。「どうか7月2日は晴れを恵んでください」と祈りました。国際会議は7月1日から10日までの10日間だったのですが、なんと私の祈りが天に通じて、9日間も晴れました。梅雨の季節に奇跡が起きました。

次に真剣にお祈りしたのは、次男の嫁さんが妊娠した時です。切迫流産の危険があり、出産の成功率は50%と言われました。ちょうど正月に差し掛かっていました。八王子の子安神社でお祈りしました。柄杓を奉納するお祈りをしました。自宅近くの神社には、元旦の朝早く行きました。赤と青のお守りを二ついただきました。私にできることは祈ることだけです。祈りの甲斐があって、7月末に無事出産しました。感謝のために嫁さんと赤ちゃんとで子安神社に行きました。今度はすくすく育つようにお祈りしました。

最大限の努力をした後は、祈ることしかありません。努力をしないで神仏に頼み込むのは虫が良すぎます。お祈りするにも順序があります。今までお祈りをしたことはほとんど実現しています。お祈りをしないで実現できていたのだと思うのは間違いです。お祈りをすると無心の願いに到達します。欲を断ち切ることができます。神仏は欲のある人には味方しないです。

お祈りを特別に考えるのではなく、生活の中で習慣化するのが良いと思います。勿論マンネリ化してはいけません。お寺や神社に行かなくても、心のなかでお祈りを続けるのです。決して悪い方向に考えないで、夢が実現する方向にプラス思考で祈ります。焦ってはいけません。一日、一日の積み重ねでしか物事は実現しません。お祈りはこの誠実な態度を確認するものです。祈りの敬虔な態度は真面目に通じます。

私はタイに5年間滞在して生活の中での仏教の大切さを学びました。

お祈りとタンブン(積善)がセットになっています。

宗教は心の病を解決してくれます。

皆さんもお祈りしませんか？

